

令和2年度

社会福祉法人すみれ福祉会

すみれ葦崎保育園

園の評価基準

(一) 項目 評価 aよくできている bできている cできていない

ア～項目 ○できている ✓できていない

1 評価基準	評価項目の評価結果	総合所見	
		園の特徴、特色など評価できる事項	今後取り組むべき検討課題
(1) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、全職員が参加し、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	④ b c	指導計画は、日（週日案）、月間指導計画、年間指導計画（4期案）を作り定期的に評価を行い、改定を行っている。	
(2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	④ b c	個別指導計画を作成し、達成度を児童票に記入し職員に周知し保管している。	

(3) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	㉑ b c	個別指導を要する場合は職員間で検討し巡回指導員の助言を受け記録に残している。ケース会議は定期的に関き、職員会議録に記録している。	保育目標、計画は、全職員で検討し共通理解を図るための話し合いが必要である。
(4) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。	㉑ b c		
(5) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	㉑ b c		
2 健康管理 ・ 食事			
(6) 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、一人一人の子どもの健康状態に応じて実施している。	㉑ b c	マニュアルを作成し実施している。アレルギー除去食の対応は、半年に1回医師の診断書をもとに生活管理指導書を提出してもらい、アレルギーとなる食品が献立に上がる場合栄養面を考慮し、除去食、代替食を提供し、栄養士の指導の下、食事をして観察している。	アレルギー疾患を持った子どもについては、全職員への周知を徹底するとともに、研修にも積極的に参加し、適切な対応を行っていく。感染症予防にも心掛け、施設の衛生管理を徹底する。
(7) 健康診断（歯科を含む）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	㉑ b c		
(8) 感染症の予防および対策については、マニュアルなどがあり、定期的チェックを行なうとともに、発生の状況に応じて保護者に連絡している。	㉑ b c		
(9) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行なっている。	㉑ b c		
(10) 日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	㉑ b c	栄養士・調理師3名で手作りの食事を提供している。	子どもたちが楽しく食事出来るように工夫し、食育活動も積極的に行っていく。 コロナウイルス等感染症予防の為、手洗いアルコール消毒など徹底する
(11) 衛生面に配慮しながら、食事を楽しむことができる工夫をしている。	㉑ b c		
ア 食事をする部屋としての雰囲気作りに配慮している。	○	行事食を行い、春には野外でお花見弁当をしている。	季節の食を取り入れながら楽しく食べられるよう工夫がされているので、今後も心掛ける
イ 食器の安全性とともに材質や形などに配慮している。	○		
ウ 個人差や食欲に応じて、加減するように工夫している。	○	個人差や食欲に応じて、加減するようにしている。	
エ 残さず食べることや偏食を直すことに対する指導に当たっては	○	食器は陶器を使用し、持ちやすさや形に	
個々に見合った対応をしている。			

オ	子どもが落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。	○	配慮している。	各年齢なりに食育の体験活動を意識して取り入れていく 野菜の苗から植え、水やりなどし、生長を観察し収穫を行い、クッキング保育などにもつなげている
カ	時には戸外で食べるなど、様々な食事のスタイルの工夫がある。	○	年に数回クッキング保育を行い、食に対する興味を持たせている。	
キ	おやつは、手作りを心がけている。	○		
ク	旬のものや季節感のある食材やメニューを取り入れている。	○	展示ケースを設け食事内容を展示し。	
ケ	嗜好や喫食状況に基づき食事内容を改善している。	○	年1回嗜好調査をアンケートにより行い、実態を把握する。	
コ	子どもが育てた野菜などを料理して食べることがある。	○		
シ	調理作業をしている場面を子どもが見たり、言葉を交わしたりできるような工夫を行なっている。	○	年1回給食試食会を行い、保護者の感想などをさんこうにして、給食内容の改善に努める。(コロナ渦で中止)	

3 保 育 環 境

(12)	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㉑ b c	各保育室の採光は良い。 24時間換気を行っている。 各部屋には温湿度計が設置されてる。	部屋の換気をこまめに行い感染症予防に配慮する 扇風機なども利用している
ア	採光に配慮している。	○		
イ	換気に配慮している。	○		
ウ	各部屋に温湿度計などがあり、温度・湿度に配慮している。	○		

エ	手洗い場、トイレは、毎日清掃し、不快なおいがないようにしている。	○	常に清掃を行っている。	子どもたちが、安心してゆったり落ち着いて過ごせる、環境づくりに努める。
オ	寝具の消毒や乾燥を定期的に行っている。	○	寝具は毎週持ち帰りをしている。	
カ	屋外の砂場や遊具の衛生面に配慮している。	○	砂場には夕方カバーをかけ小動物が入らないようにしている。 週末には砂場を消毒している。	
(13)	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている。	㉑ b c		
ア	子どもが不安になったりした時にいつでも応じられるように、保育者が身近にいる。	○	白色主体の保育室だが季節に合わせて子ども達の作品を展示している。	
イ	一人一人の子どもが落ち着いてくつろげる空間がある。	○	冬の感染症が流行する時期は 空気を	

ウ	眠くなった時に安心して眠ることができる空間がある。	<input type="radio"/>	<p>全ての窓が換気できる時期は、エスエス殺菌する加湿器を各保育室におき、湿度調整に努める。</p> <p>低月例児の午睡時やさしい音楽などかけ心地よい睡眠がとれるような配慮をしている。</p>	
エ	適温給食など食事のための環境が整えられている。	<input type="radio"/>		
オ	季節にあわせてインテリアが工夫されている。	<input type="radio"/>		
カ	配色に配慮した保育室となっている。	<input type="radio"/>		
キ	音楽や保育者の声など、音に配慮している。	<input type="radio"/>		
ク	屋外での活動の場が確保されている。	<input type="radio"/>		

4 保育内容

(14)	一人一人の子どもへの理解を深め、受容しようと努めている。	<input checked="" type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c	<p>一人ひとりの子どもの背景などを把握しその子に合った言葉かけや支援をしている。</p> <p>命令・指示・禁止となる言葉かけはせず、子どもが考え、行動できるよう主体的な活動を見守る。</p> <p>子どもの思いを大切に受け止め、丁寧に対応する。</p>	<p>保育理念と方針に添った保育を全職員で共有し行っていく。</p>
ア	子どもに分かりやすい温かい言葉使いで、穏やかに話している。	<input type="radio"/>		
イ	「早くしなさい」とせかす言葉や、「だめ」「いけません」など制止する言葉を用いないようにしている。	<input type="radio"/>		
ウ	子どもの質問に対して、「待って」や「あとで」などと言わずに、相手の了解を得る対応をしている。	<input type="radio"/>		
エ	「できない」「やって」といつてくる子どもに対して、その都度気持ちを受け止めて対応している。	<input type="radio"/>		

オ	「いや」などと駄々をこねたり、自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを汲み取ろうとしている。	<input type="radio"/>	<p>保育方針である「自立心を育てる」を常に考慮し接している。</p> <p>入眠時は環境を整え安心できるよう配慮されている。</p>	<p>前年度の保育を振り返り、子どもが主体となって遊んでいるか見直し、さらに改善していく</p>
カ	登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて抱いたり、優しく声を掛けたりしている。	<input type="radio"/>		
(15)	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	<input checked="" type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c		
ア	トイレに行くことをせかしたり、強制したりせずに、一人ひとりのリズムに合わせるようにしている。	<input type="radio"/>		

イ	おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、 子どもの心を傷つけないように配慮している。	○	特に乳児は一人一人の生活リズムに応じて睡眠が出来るように配慮している。	反省を指導計画や保育に十分生かしていけるよう意識していく
ウ	衣服の着脱に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで 自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしている。	○		
エ	子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着方の 援助について工夫が見られる。	○		
オ	休息時には、子守歌を歌ったり、背中を軽くたたくなど、安心して 心地よい眠りにつけるように配慮している。	○		
カ	休息时间以外でも、一人一人の状況に応じて、身体を休ませる ようにしている。	○		
キ	休息時間に、眠くない子どもへの配慮をしている。	○		
(16)	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	Ⓐ b c		
ア	子どもの発達段階に即した玩具や遊具が用意されている。	○	園庭遊びでは、築山・タイヤなどで自由に遊ぶ	

イ	子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫 されている。	○	雨天の日はホール等で自由に遊びができるようにしている。	環境設定の工夫を行ない、子どもたちがやってみたいと思える遊びの提供を行う
ウ	好きな遊びができるコーナーが用意されている。	○		
エ	子どもが自由に遊べる時間が確保されている。	○		
(17)	身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。	Ⓐ b c		
ア	子どもが身近に動植物に接する機会をつくっている。	○	地域の畑をお借りして、さつまいもや大根を育て収穫する作業を地元の方たちと 行い交流を深める。	
イ	園庭や散歩で拾ってきた葉や木の実など、季節感のある素材を用意している。	○		
ウ	散歩などで地域の人たちに接する機会をつくっている。	○	ぶどう狩りや園外保育、図書館見学など、電車・バスなど利用して行う（今年度はコロナ渦のため貸切バス利用9	
エ	地域の行事に参加したり、公共機関を利用するなど、社会体験が得られる	○		

機会をつくっている。	○		
(18) 地域の自然環境に親しみ、守り育てる取り組みがされている。	Ⓐ b c	コーナー遊びができるようにしている。	
ア 自然環境を守り育てる取り組みが計画されている。		園庭外周辺の草取り清掃をしている。	
イ 職員に自然環境を守り育てる研修の機会を提供している。	○		
ウ 自然環境を守り育てる取り組みを保育の中で実践している。 (身近な素材の再利用、ごみの分別、清掃活動など)	○		
エ 保護者や地域と共に、自然環境を守り育てる取り組みをしている。	○	保護者会協力で園庭整備を年1回行う	
(19) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	Ⓐ b c		
ア 子どもが自由に歌ったり、踊ったりできる場面がみられる。	○	年間行事を通して表現活動をしている。	様々な楽器を楽しめるように触れる機会を設け、自由に楽しめる機会を増やしていきたい。
イ さまざまな楽器が楽しめるようになっている。	○		(演奏会鑑賞等)
ウ クレヨン・絵具・粘土・紙など、さまざまな素材を子どもたちが自分で使えるように用意されている。	○	楽器の種類は少ないが、楽器に触れて楽しめる機会を作っている。	様々な楽器が楽しめるように、種類を増やしたり、自由に楽しめる機会を増やしていきたい。
エ 子どもの作品が保育に活かされたり、工夫して飾られたりするなど、大切に扱われている。	○		
オ 身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。	○		
カ 絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。	○		子どもが自由に活動できる活動を取り入れる。
(20) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	Ⓐ b c		
ア 子ども同士の関係をよりよくするような適切な言葉かけをしている。	○		
イ けんかの場面では、危険のないように注意しながら、子どもたち同士で解決するように援助している。	○	毎日当番活動を行い責任感を育てようしている。	
ウ 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	○		
エ 当番活動などが日常生活の中で行なわれている。	○	異年齢児保育を行う中で、兄弟関係作りを通して人に対する思いやりや優しさを育て、自立に繋げるようにしている。	
オ 異年齢の子どもの交流が行なわれている。	○		
(21) 子どもの人権に十分配慮すると共に、文化に違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	Ⓐ b c		

ア	子どもが、自分の意見を保育者など大人にはっきり言えるよう配慮している。	○	
イ	子どもが、他の子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	○	
ウ	一人一人の子どもの生活習慣や文化、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てるように努めている。	○	
エ	子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。	○	
オ	子どもの人権について正しい理解と認識を深めるため必要な研修等に職員が参加し、その実践に努めている。	○	
カ	保護者に、子どもの権利擁護（「子どもの権利条約」「児童憲章」など）を提供し、啓発している。	○	
(22)	性差への先入観による固定的な観念や性別役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	Ⓐ b c	
ア	「男の子だからめそめそするな」などと、子どもの態度について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。	○	ほとんどの活動において男女差をつけないように考慮している。

イ	「それは女（男）の子の色」などと、子どもの服装などについて、性差への先入観による固定的な対応をしていない。	○	
ウ	「それは女（男）の子の遊び」などと、子どもの遊び方について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。	○	
エ	「男の子だから家事をすることはない」などと、育児、家事、介護などについて性差への先入観による固定的な対応をしていない。	○	
オ	「それは女（男）の子の仕事」などと、職業について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。	○	
カ	保護者に対しても機会あるごとに働きかけしている。	○	

(23) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉑ b c			
ア 授乳は、子どもが欲しがるときに、抱いて目を合わせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。	<input type="radio"/>	保育士の配置は基準より多く配置しており、ひとり一人の子どもにゆったり関わっている。		
イ 離乳食については、家庭と連携を取りながら、一人一人の子どもの配慮して行っている。	<input type="radio"/>			
ウ おむつ交換時は、やさしく声をかけ、スキンシップを取りながら行なっている。	<input type="radio"/>			
エ 一人一人の生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	<input type="radio"/>			
オ 外気に触れるなど、外遊びを行なう機会を設けている。	<input type="radio"/>			
カ 喃語には、ゆったりとやさしく応えている。	<input type="radio"/>			午睡当番を決め、交代ですべての午睡の部屋で午睡中の子どもの様子を観察する。
キ 顔を見合わせてあやすなど、乳児とのやりとりや、触れ合い遊びを行っている。	<input type="radio"/>			
ク たて抱き、腹這いなど、子どもの姿勢を変えている。	<input type="radio"/>			3歳未満児は午睡チェック表に毎日記録し観察する。
ケ 寝返りのできない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせている。	<input type="radio"/>			
コ 特定の保育者との継続的な関わりが保てるように配慮している。	<input type="radio"/>			

(24) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉑ b c		
ア 家庭的な雰囲気なかで過ごせるよう工夫している。	<input type="radio"/>	19時までの延長保育を行い、常勤保育士、延長時の保育士2名を配置している。	
イ 好きなことをしてくつろげる空間や遊具がある。	<input type="radio"/>		
ウ 長時間にわたり保育を受ける子どもに夕食や軽食が提供されている。	<input type="radio"/>	18時以降はせんべいと麦茶の軽いおやつを提供。	
エ 一人一人の子どもの要求に応じて、抱っこや声をかけるなど、ゆったりと接して	<input type="radio"/>		
オ 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されている。	<input type="radio"/>		
(25) 障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉑ b c		
ア 障がいのない子どもの、障がい児への関わりに対して配慮している。	<input type="radio"/>		
イ 園舎はバリアフリーの配慮がみられる。	<input type="radio"/>		

ウ	障がい児の特性に合わせた園での生活の仕方の計画が立てられている。	○	市と県の巡回指導を定期的に依頼し助言、指導を受けている。多くの研修会に積極的に参加している。	専門機関の指導を受けながら、全職員で連携をとり進めて行く。家庭との連携を深めるため、良い関係づくりをする
エ	障がい児保育について保育所全体で定期的に話し合う機会を設けている。	○		
オ	障がい児保育に携わる者は、障がい児保育に関する研修を受けている。	○		
カ	医療機関や専門機関から相談や助言を必要に応じて受けられる。	○		
キ	保護者に、障がい児に関する適切な情報を伝えるための取り組みを行なっている。	○		
ク	障がいのある子もない子も、互いの良さを感じとり楽しく交流している。	○		
ケ	障がいのある子の保護者の思いを受けとめ、配慮している。	○		

II. 子育て支援

1 入所児童の保護者の育児支援

(1)	一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	㉠ b c	園児送迎時の保護者との対話や連絡ノートなので情報交換を行っている。	必要があれば、主任・園長が面談を行う
(2)	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	㉠ b c		
(3)	子どもの発達や育児などについて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	㉠ b c		
(4)	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めるためのマニュアルがあり、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。	㉠ b c		

(5)	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、(子ども家庭相談センター)や家庭児童相談室(子ども家庭相談室)などの関係機関に照会通告を行う体制が整っている。	㉠ b c	入手した情報で必要なものは児童票に記録している。	
-----	--	-------	--------------------------	--

2 多様な子育てニーズへの対応

(6)	多様な子育てニーズを把握するための取組みを行い、事業に反映している。	㉠ b c		
-----	------------------------------------	-------	--	--

3 地域の子育て支援

(7) 育児相談などの地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取組みを行なっている。	㉠ b c	祖父母学級や給食見学及び試食会を行っている。	
ア 電話やファックスなどによる子育て相談を行っている。	㉠ b c	地域の高齢者施設へ訪問し交流（今年度はコロナ渦のため中止）	
イ 来園による子育て相談を行っている。	㉠ b c		
ウ 育児情報の提供を行っている。	㉠ b c		
エ 地域の子育て家庭の親子が定期的集まる機会を設けている。	㉠ b c		
オ 地域の子育て家庭の親子と園に通っている親子が交流する機会を設けている。	㉠ b c		
カ 地域の母子家庭と連携した取組みを行っている。	✓		

III. 地域の住民や関係機関等との連携			
1 地域の住民や関係機関・団体との連携			
(1) 保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	㉠ b c	夏まつりなど、地域の子育て家庭も自由に参加し、交流ができるようにしている。	地域の高齢者との交流、地域の行事には積極的に参加していく
(2) 子どもの健康状態について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。	㉠ b c	園医による健康診断及び歯科検診をそれぞれ年2回ずつ行っている。	
(3) 育児相談などに際して、児童相談所（子ども家庭相談センター）や家庭児童相談室（子ども家庭相談室）などの専門機関に相談や連携が出来る体制になっている。	㉠ b c		

(4) 小学校との間で小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。	㉠ b c	関係機関とは常に連携体制をとっている。	コロナウイルス感染予防のため今年度はあらゆる交流会が中止となってしまったが、今後も計画的な交流や連携を心がけていく
(5) 区域担当の児童委員（民生委員）や主任児童委員、自治会等の地域団体と連携した取組みを行っている。	㉠ b c	葦崎小学校は園児たちの学校訪問を行っている（コロナ渦のため中止）	
(6) 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	㉠ b c		
(7) 中高生などの保育体験を受け入れるにあたり、子どもと保護者の了解を得ており、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	㉠ b c	地区の民生委員を第三者委員に委嘱し、地域との窓口を依頼し行事の都度地域の方々と交流している。	
(8) 実習生を受け入れるにあたっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。	㉠ b c	毎月の園だよりを地域に配布し理解を呼	

(9) ボランティアを受け入れるにあたっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され 受け入れの担当者も決められている。	㉑ b c	びかけている。	園の文化で進歩をはかっている く
ア 実習生を受け入れるにあたり、保育目標や保育の実態、子どもの発達について 説明している。	○	保育実習生と看護学生を受け入れ、そ の中で記された感想や問題点などを保育 に反映している。	
イ 子どもへの関わり方を適切に指導している。	○	事前にオリエンテーションを行っている。	
ウ 実習生の言動が保育に支障をきたすときは、はっきりと気付かせ、改めさせる 指導の努力をしている。	○	実習生	
エ 実習生の感想・意見から園側は学ぼうとしている。	○		

IV. 運営管理

1 基本方針

ア ボランティアを受け入れるにあたり、保育の実態や子どもの発達について 説明している。	○		
イ さまざまなボランティアの形を探り、子どもたちに多様な出会いや学びの場を 与えようとしている。	○		
ウ ボランティアの感想・意見から園側は学ぼうとしている。	○		

(1) 保育所の保育理念および基本方針が明文化されている。	㉑ b c	入園のしおりに掲載している。	
(2) 保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取組みを行っている。	㉑ b c		

2 組織運営

(3) 保育の質の向上や改善のための取組みを、職員参加により行っている。	㉑ b c	県内の研修（オンライン）に積極的に参加 職員会議と園内研修を毎月行い会議録を 回覧し、周知に努めている。 週月年間計画を毎日毎週毎月4半期毎に評	研修計画を立て、積極的に研修 に参加する 全職員がテーマで共通理解が できるよう、主任を中心に園内 研修に取り組んでいる
(4) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	㉑ b c		
(5) 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	㉑ b c		
(6) 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	㉑ b c		
(7) 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	㉑ b c		

(8) 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	㉑ b c	価し、次の計画に組み込んでいる。 児童票に集約し記録されている。これには担任主任園長の印が押され必要ときに職員が閲覧できる。 文章保存規程に従い管理している。	研修に取り組んでいる 職員同士のコミュニケーションを大事に心掛ける
(9) サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	㉑ b c		
(10) 事業所の変更や家庭への意向などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	㉑ b c		
(11) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	㉑ b c		

3 守秘義務の順守

(12) 守秘義務の遵守を周知している。	㉑ b c		セキュリティの強化を行う
----------------------	-------	--	--------------

4 情報提供・保護者の意見の反映

(13) 情報提供にあたって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	㉑ b c		ホームページにて、情報の発信に努めていく
ア 園だより、クラスだより等を配布している。	○		
イ 園の掲示等による保護者への情報提供について、わかりやすく伝える工夫が見られる。	○		
ウ パンフレットや要覧等を園児の保護者以外にも配布している。	○		

エ 園外向けの掲示板やポスター等で、園の様子や行事などについて、地域の人に見てもらえるようにしている。	○	保護者の送迎時に目につきやすい場所に掲示をしている。	保護者アンケートによる意見・要望等を運営に反映させていく
オ ホームページや情報誌など誰もが容易に入手できる形態の広報媒体がある。	○		
カ 園の運営状況等についての情報を求めに応じて公開できるようにしている。	○		
(14) 保育の実施にあたり、意見箱を設置するなど保護者から意見を聞くための取り組みを行ないその意向に配慮している。	㉑ b c	意見箱を設置し、記録をして対応している。	個人情報の適切な取り扱いを徹底していく
(15) 苦情申し立てについての体制ができており周知されている。	㉑ b c		

5 安全・衛生管理

(16) 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備され機能している。	① b c	危機管理マニュアルを作成している。 安全教室・避難訓練・防犯訓練を行う。	マニュアルの見直し、改善を行い、研修などを通して、職員に徹底する 安全点検を定期的に行い遊具・用具の整理保管につとめる
(17) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	① b c		
(18) 事故防止のためのチェックリスト等があり具体的な取り組みを行っている。	① b c		
(19) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	① b c		

